

農作業中の事故にご注意ください!!

幕別町における農作業中の事故については、直近5年間をしてみると、死亡事故の発生はありませんが、負傷事故は1年間に約50件発生しています。

また、令和2年度は38件の負傷事故が発生していますが、その内訳は、家畜による事故が16件(42.1%)で最も多く、次いで農業機械による事故が8件(21.1%)、人の転倒が6件(15.8%)となっています。

これらの農作業事故の発生原因は、作業の遅れに伴う疲れや焦り、作業の慣れや気持ちの緩みなど、ちょっとした油断や不注意が考えられます。

作業にあたっては、急ぐ気持ちや焦りを抑え、余裕を持つことが大切です。

特に、死亡事故の発生割合が高い農業機械作業は、シートベルトやヘルメットの着用など安全対策を改めて徹底することが大変重要です。

農林水産省では、秋の農作業が本格化する9、10月を重点期間として、秋の農作業安全確認運動を実施していますが、農業者の皆さんも農作業事故ゼロを目指して、引き続き、快適で安全・安心な農作業の取組みに心がけていきましょう。

◆直近5年間の年齢別農作業事故発生状況の推移(負傷事故)

(単位:件)

| 年度 | ～39歳 | | | 40歳～59歳 | | | 60歳以上 | | | 合計 | | |
|--------|------|---|----|---------|----|----|-------|---|----|----|----|----|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 平成28年度 | 2 | 4 | 6 | 16 | 11 | 27 | 9 | 5 | 14 | 27 | 20 | 47 |
| 平成29年度 | 9 | 4 | 13 | 12 | 5 | 17 | 18 | 4 | 22 | 39 | 13 | 52 |
| 平成30年度 | 4 | 5 | 9 | 14 | 8 | 22 | 10 | 6 | 16 | 28 | 19 | 47 |
| 令和元年度 | 15 | 5 | 20 | 16 | 7 | 23 | 8 | 6 | 14 | 39 | 18 | 57 |
| 令和2年度 | 11 | 2 | 13 | 8 | 3 | 11 | 10 | 4 | 14 | 29 | 9 | 38 |

◆直近5年間の原因別農作業事故発生状況の推移(負傷事故)

(単位:件)

| 年度 | 農業機械 | 家畜(牛・馬・豚) | 高所転落 | 人の転倒 | 蜂 | 農業中毒(殺虫、殺菌、除草) | 農薬不明 | 鎌 | 鍬 | 小農具その他 | 小農具不明 | その他 | 不明 | 計 |
|--------|------|-----------|------|------|---|----------------|------|---|---|--------|-------|-----|----|----|
| 平成28年度 | 18 | 18 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 3 | 0 | 47 |
| 平成29年度 | 16 | 24 | 4 | 4 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 52 |
| 平成30年度 | 11 | 15 | 0 | 4 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 4 | 0 | 9 | 0 | 47 |
| 令和元年度 | 11 | 22 | 4 | 6 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 9 | 2 | 57 |
| 令和2年度 | 8 | 16 | 2 | 6 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 38 |

幕別町家畜伝染病自衛防疫組合からのお知らせ

幕別町家畜伝染病自衛防疫組合では、家畜の伝染病による疾病発生の予防を目的に、予防接種や広報活動を行っています。家畜伝染病の発生を予防するため、家畜を飼養されている方は次の点に注意し、予防の徹底協力をお願いします。

- 新たに家畜を導入したときは、1週間～10日間程度の期間隔離し、健康であることを確認しましょう。
- 畜舎に出入りするときの消毒のため、踏み込み消毒槽等を設置しましょう。
- 敷地を出入りする自動車用として、敷地の出入口に消石灰を散布しましょう。
- 野鳥、ネズミなどの野生動物が侵入しないように防鳥ネット等を設置しましょう。
- 定期的に飼槽、水槽の消毒や畜舎の清掃を行いましょう。